沖縄尚学 附属中PTA新聞

第60号　令和２年２月29日　発行

編 集　沖縄尚学高等学校附属中学校　PTA文化教養部　〒902-0075 那覇市国場747番地　TEL（098）832-1767・853-1579　http://www.okisho.ed.jp
発 行　有限会社　南風原印刷　TEL（098）834-1616

「他者との競争」を「自分との勝負」に変える
伸び悩み解消法

沖縄尚学高等学校
附属中学校 校長
博士（教育）
名城　政一郎

砂川会長以下沖尚中PTAの皆さん、常日頃の学園の教育への理解と協力ありがとうございます。

さて、今回は、PTA中学文化教養部からの依頼で、「伸び悩んでいる生徒」の皆さんへ向けてのメッセージを書くことになりました。

まず、「伸び悩んでいる」とはどんな状態を指すのか？教育の世界では、人間の能力を知・徳・体の三つの領域でとらえ、それぞれの領域で潜在能力を顕在化させていくことを目的としています。例えば、「数学の成績が伸び悩んでいる」とは、数学で「できないことをできるように」することができずに困っている状態を意味します。決して、他の生徒と比べて席次が下位であることを意味するわけではありません。英検準2級がなかなか取れない場合も、準2級の合格基準に到達できず「伸び悩んでいる」ことになりますし、空手の昇級審査に合格できない場合、「体」の領域で伸び悩んでいることになります。数学や英検の場合は「知」の領域での伸び悩み、空手の場合は「体」の領域での伸び悩みといえます。ここで忘れてはならないことは、「知」と「体」の分野での伸び悩みの原因に「徳」つまり、「心」の在り方が大きく関係してくることです。

伸び悩みを解決する方法は意外と簡単です。まず、伸び悩んでいることを軽く考えず、真剣に「悩む」ことです。次に、数学であれ、英検であれ、空手であれ、結局は人との勝負ではなく、自分との勝負であることを悟ること。そして実際に「できないことをできるようにすること」に集中してみる。すると「自分を伸び」悩ませていた「邪魔者」が消えていき、心が軽くなったことに気が付きます。私たちは、他者ではなく、自分に目を向け、自分と勝負しているとき「怖れず、侮らず、気負わず」の「無我の境地」（集中してやるべきこと以外はすべて気にならなくなった状態）に至ります。自分を「怖れたり、侮ったり」、自分の目を気にして「気負う」ことなどないからです。

皆さんが沖尚中の3年間に取り組んできた「やるべきこと」のすべてが、「怖れず侮らず気負わず」を体験する自分との勝負の場でした。本番はもちろんのこと、練習の時から自分との勝負とみなし取り組むよう言われてきたはずです。

高校進学後も、この「自分との勝負の場」を意識して「怖れず侮らず気負わず」を楽しんでください。では、高校で会いましょう。

交流会での中２集合写真

二〇二〇年二月三日、盈進中学（広島県福山市）が首里城復興募金を行い、その贈呈式と交流会が高校体育館で行われました。

本校なぎなた部も演武を披露

グループに分かれての交流会

PTA ソフトバレーボール大会

去った令和元年十月十九日に高校体育館で行われたソフトバレーボール大会で気持ちの良い汗をかいてきました。普段なかなか交流する機会が少ない娘のクラスメイトやご保護者の皆さんと「ケガをしないように」をモットーにソフトバレーボールを楽しみました。

そもそもソフトバレーボールというスポーツ自体も初体験だったのですが、開始前に先生方とバレーボール部の生徒さんが丁寧かつ面白く説明してくださって、おぉ～、早くやってみたい～！とワクワクしていました。

学年別、クラス対抗のトーナメント戦で、ケガをしないように試合を進めていくのですが、初めて触る大きくて柔らかいボールに皆さんが慣れ始めると次第にヒートアップ！　たまにムキになってしまって反則を取られてしまう保護者も。着替えのシャツを持って来るべきだった、と後悔するほどの大汗をかいて（私だけでしょうか？）、見事に一年三組は準優勝に輝きました！　素敵で豪華な手づくりのトロフィーまでいただき、製作したＰＴＡ役員の皆様の努力にも頭が下がる思いでした。

今回、ご参加出来なかった保護者の皆さんは是非次回、参加されるようお勧めします！　日頃の運動不足解消にも効果アリですよ。

（一年三組保護者　渡嘉敷貴浩）

【文化教養部　渡嘉敷　美帆】

優勝した一年一組

準優勝の一年三組

優勝した二年七組

優勝した三年六組

中１ボランティア活動報告

本校では教育方針のひとつにボランティア活動を取り入れています。一年一組では、以下のボランティア活動に取り組みました。

1、宿泊研修の際に学年全体で取り組んだ糸満青少年の家清掃ボランティア。

2、学級全員で中学全クラスに協力をお願いして回り、放課後に首里城再建支援募金活動に取り組みました。

3、南部子ども医療センターでクリスマスに向けて、折り鶴でツリーをつくるため折り鶴を集めているという協力依頼が学校にあり、朝のＳＨＲなどを利用して、クラスみんなでひたすら鶴を折りました。

中高六年間を通して様々なボランティア経験を通して、社会貢献と自己実現を目指すたくましいグローバル教養人に育ってほしいものです。

【文化教養部　高良　まゆこ】

ボランティア活動自体初めて取り組む子が多いなか、最初は何をしているのか戸惑っている子が多かったです。しかし取り組んでいくうちに「誰かのために自分ができること」を一生懸命に、また楽しそうに取り組んでいる様子が見られました。ゆくゆくは、困っている人のために、自然に身体が動き、手を差し伸べるような人間になって欲しいと願っています。

（一年一組担任　国吉　真太郎）

ボランティア活動を通して学級の連帯感も深まります

第六十四回日本ＰＴＡ九州ブロック研究大会 福岡県大会 報告

令和元年十月二十六～二十七日、第六十四回日本ＰＴＡ九州ブロック研究大会（福岡県大会）に金城（中学）教頭先生、砂川会長、佐藤の三名で参加しました。日程は一日目福岡入り、二日目に九つある分科会のうち各担当の分科会に参加、三日目マリンメッセ福岡にて全体会が行われました。

今回の研究大会では主に「親力」を大会のスローガンとし、親としてどう子供と向き合っていくのかが発表されていました。特に全大会で対談形式の講話をされた鈴木みゆき氏（国立青少年教育振興機構理事長）と小林さやか氏（坪田信貴著『学年ビリのギャルが一年で偏差値を四〇上げて慶應大学に現役合格した話』の主人公）の話が非常に勉強になりましたので特に感銘を受けた３点についてご報告します。

①子供の自己肯定感を養おう

現代の子供たちには「どうせ無理」「やってもしょうがない」といったような意見をよく聞きます。それでは前に進みようがないので、自己肯定感を身に付けることにより自信につながり「自分は〇〇ができる」と思えるようにする。

ビリギャルの場合、高校三年生の時小学校四年生の算数のドリルを一週間で解き、正解率六〇％でも塾の先生から「さやかちゃん、もしかしたら天才だね」と言われ、その気になる。

②親もピカピカしよう

子供たちに「大人になりたい人」と聞いたとき、ほとんどの人が「なりたくない」と答える。これは親に問題がある。なぜかというと、休みの日に寝てばっかりな親を見ると子供は大人になると「大人ってこんなにも大変なんだ。だったらなりたくない。」と思うようになる。なので、いきいきした姿で「大人って楽しいんだよ」とアピールしましょう。

③ティーチングからコーチングへ

簡潔に言うと、教育現場のなかには、これまでの生徒へのアプローチが「先生が一方的に生徒に教えていく」スタイルから、「先生は生徒に寄り添って、どのように勉強していくのかをサポートする」スタンスを取り入れているところもあり成果を上げているそうです。

ビリギャル本人の話は説得力があり、これからの子供の接し方や大人としての魅力の発信方法を考えさせられました。私としても「親力」の自己研鑽に励みたいと思います。今回このような機会を賜り大変感謝しております。ありがとうございました。

【報告　佐藤　栄作】

中高合同バトントワリングチーム　フレッシュバトン賞を受賞

令和元年11月17日、沖縄コンベンションセンターで「第32回マーチングインオキナワ2019」が開催され、バトントワリングのフレッシュ部門に沖縄尚学高校及び中学校の合同チームが初出場しました。

沖尚バトンチームは、バトントワリングが好きな生徒が集まり、昨年の夏に結成されたばかりで、高校生３人、中学生２人からなる小さなチームです。放課後や週末に集まって練習を重ね、大会ではフレッシュバトン賞を受賞しました。

【中２文化教養部　島袋　春香】

（メンバーの声）　沖尚バトンチームとして高校生の先輩と一緒に大会に初めて出場しました。とても楽しかったです。もっとメンバーが増えるといいなと思っています。次の大会も頑張ります！

中2PTA学年行事　未来への道しるべ　～十四歳のハローワーク

多士済々　職業講話の講師の皆さん

中二ＰＴＡ学年行事として令和元年十二月七日(土)に「未来への道しるべ～十四歳のハローワーク」と題し、各界でご活躍する本校ＯＢ、ＯＧ十八名の講師の方々をお招きし、職業講話を行いました。同じ学び舎で過ごした本校卒業生から伺う話は子供たちにとっては一層身近に感じ、普段聞くことができない様々な職業観や人生観に触れることで刺激をうけ、今後の進路の参考になったことと思います。親としてもこういった取り組みはとても有難く今後も続けて欲しい行事のひとつです。

【中二文化教養部　花城　牧子】

宮城　麻里子さん（フリーアナウンサー）
二年一組　比嘉　彩音

自分は、将来安定した生活がしたいと思っているので、親に勧められている給料が高めの仕事に就こうと思っているけど、宮城さんの「自分の好きなことじゃなくて、興味がないことを毎日やっていると地獄だと思います」という言葉を聞いて、「自分も好きなことを見つけて、将来地獄にならないようにしよう」と考えさせられました。また「自分の心が動くか動かないかが大切」という言葉がとても印象に残りました。今回は素晴らしい講演をして下さってありがとうございました。

赤嶺　太介さん（街クリーン㈱代表取締役社長）
二年二組　知念　沙空

私は今回、赤嶺さんの講話を聞いて、夢を持つことは良いことだと改めて気づきました。私は、夢はまだ決まっていないけど、皆のために、自分のためにできる夢をこれから決めていきたいです。そして思いやりの心をしっかり持ち、何でもチャレンジすることを頑張りたいと思いました。今日は講演して頂きありがとうございました。

安田　一郎さん（Ｍ＆Ａアドバイザー）
二年三組　大木　一穂

Ｍ＆Ａ(企業合併買収)のお仕事について教えていただきありがとうございました。今日、安田一郎さんの講演で学んだことは、Ｍ＆Ａアドバイザーという仕事が地域の発展をサポートしている。また「社会貢献」しているということがわかりました。さらに、Ｍ＆Ａは、それぞれの会社を「生き残るため」、「成長するため」に仕事をしていることがわかりました。また、Ｍ＆Ａは一部の会社ではなく、すべての会社を対象として、それぞれの会社へアドバイスをしていることがわかりました。自分も将来、Ｍ＆Ａアドバイザーのような「地域の発展」、「社会貢献」ができるような仕事をしたいと考えています。

眞境名しのぶさん（ザ・テラスホテルズ㈱チャタンハーバーブルワリー　製造責任者）
二年四組　新垣　龍馬

僕がこの「ビールをつくる」という講話を聞いてとても共感したことがあり、それは眞境名さんが最初に言っていた「好きなことを仕事に」という言葉です。そのことは僕もすごく大事だと思っていて、沖尚でも「労働から天職に」などあるので、僕も仕事に就くときは好きなことを仕事にできたらいいと思いました。また、すごいと思ったことが、他社に負けないように様々な事業を始める行動力がすごいと思いました。また、「造ったビールで人々を笑顔にしたい」といったことが原動力と言っていてとても良い事だと思いました。眞境名さんのアドバイスは「色々なことに興味を持つ」ということなので、いろいろなことにチャレンジして、自分に合う仕事を見つけていきたいです。

仲宗根　敏幸さん（琉球大学医学部附属病院　歯科口腔外科講師　歯科医師）
二年五組　伊元　かこ

歯科医師は歯に関することだけをするのかと思っていたけれど、生まれつき唇が切れている赤ちゃんを助けたり、顎変形症の人も助けたりと、大変な仕事ばかりだなと思いました。でも、患者さんが喜んでくれると思うと、素敵な仕事だと思いました。沖縄だけでなく、海外にも目を向け、グローバルに人を助けるのも大切だということもわかりました。仲宗根さんの座右の銘の「何事にも全力投球」、「鬼手仏心」、「自分の人生を変えるのは自分自身だ！」に納得して、私もこのようなことを実践したいです。また仲宗根さんたちが大切にしている四つの中で「患者さんに対して親身になって診察」が素敵で私も医者になったら、そのように心掛けたいです。「医者」という夢がある私にとって仲宗根さんのお話はとても刺激的でした。また歯医者になるということもいいなと思いました。本日はありがとうございました。

上原　真人さん（沖縄県八重山病院麻酔科部長）
二年六組　淵邊　陽貴

僕は将来、医者になりたくて、今のところでは麻酔科になりたいと思っています。それで、今回、真人先生の講話で麻酔の三要素「寝る・痛くない・動かない」を知ることができました。僕は手術をするうえで麻酔は絶対に欠かせないものであり、それを正確にやるのがかっこいいと感じ、医師になりたいと思っています。そして真人先生が言っていた通り、麻酔科の成り手があまりいないので、少しでも力になれたらと思ったからです。僕は英語が一番苦手なので、医者になるには絶対に必要なので、たくさん勉強して、完璧に習得して、医学部を現役で合格して、六年で卒業し、国家試験も合格して、最短で麻酔科医になり、人を救いたいです。ありがとうございました。

各会場に分かれて講話

慶田　康成さん（沖縄振興開発金融公庫　融資第一部課長）
二年七組　福田　彩弥

慶田さんの講話を聞いて、沖縄に来る観光客一〇〇〇万四三〇〇人(二〇一八年)で、一日あたりに十万人(二〇一八年)ということにすごく驚きました。ビジネスパーソンに必要なリテラシーは今までは「読み」、「書き」、「そろばん」だけだったのが、今は「読み」、「書き」、「そろばん」、「コミュニケーション力」、「マネジメントスキル」、「ＩＴスキル」に増えている点でも、現在はコミュニケーション能力が大事になっているのだなと思いました。

私はあまり周りのことに関心がないのですが、慶田さんの話を聞いて、自分の周りのことに関心をもって変化に強くなり、自分のしていることが、周りのどんな位置なのかなどを把握するなどしていこうと思いました。自分じしんが関わったことが目に見える形で成功、完成すると絶対嬉しいだろうなと思いました。講話からこれからの生活に生かせることをたくさん学ばせていただきました。ありがとうございました。

校内スピーチコンテスト
勝負の場で英語力を発揮する

令和元年十一月十六日土曜日に校内スピーチコンテストが本校体育館にて開催され、中学一年生から三年生までの生徒が日頃の英語学習の成果を力強いスピーチで披露してくれました。中学校生活最後となる三年生の入賞者五名の声を紹介します。

【文化教養部　山内　幸代】

一位　三年六組　熱田　花楓

学校行事が続いて忙しい中、先生方のサポートもあり、他の出場者たちと切磋琢磨できたので良かったです。

二位　三年六組　砂川　昌太郎

先生方のご指導のおかげで大変な練習も頑張れました。練習の成果を認めて頂けたことで、努力の大切さを実感しました。

三位　三年七組　姜　有美

私の意見を大勢に理解してもらえるようにジェスチャーを工夫しました。これからも経験を重ねて自分を表現する力を磨いていきたいです。

四位　三年七組　加屋本　悠

英語で原稿を書くことは大変でしたが、語彙力や表現力が身につきました。来年はもっと上を目指して頑張ります。

五位　三年三組　與那嶺　亜寿華

五位で悔しかったですが英語力が身についてよかったです。高校でリベンジします。

学校対抗英語スペリングコンテストで優勝・準優勝！

第十一回「学校対抗英語スペリングコンテスト」（主催一般社団法人　沖縄英語教育を考える会）嘉手納文化センターで開催され、本校附属中学中学生の二チームが優勝・準優勝を受賞しました。同大会には、県内の中学校から二十二校・合計四十七チームが出場し、英単語の綴り・発音の正確さを競いました。今大会には、本校から二十一名の生徒がボランティアとして参加しました。

【文化教養部　宮城　彰子】

優勝　中三　宮城　叙衣

今回のスペリングコンテストに参加して沢山のことを学ぶことができ、忘れることのない良い経験となりました。三年間このコンテストに参加してきましたが、最後に優勝することができてとてもうれしいです。このような結果が出せたのは、周りで支えてくださった先生方のおかげです。そして何よりもチームメイトであった中二の親泊優希君と中１の神里奏良さんがいなければ優勝できなかったと思うのでとても感謝しています。高校生になってもこの良い思い出を忘れることなく、全力で夢に向かっていきたいです。

準優勝　中三　仲本　明日香

私は、今回が最後のスペリングコンテストでした。昨年は、決勝まで勝ち進めず、その悔しさから同じチーの宮城叙衣さんと、「来年は二人のチームで１・２フィニッシュしようね」と誓い、その夢を叶えることができました。自分達のチームは、二位で悔しかったけど、決勝での対決は楽しかったです。最高の思い出になりました。

（保護者の感想）「参加した全生徒が自分の無限の可能性を信じ、最後まで決して諦めず果敢に挑戦する姿勢に大きな感銘を受けました。また司会進行を始め様々なサポート役を沖尚の生徒が担っていたことにも大きな拍手を贈ります。」

国際通りで「空手の日」に演武を披露

十月二十五日の「空手の日」にちなんで、二十七日には国内外の空手家・空手愛好者二千名余りが国際通りで一斉演武を披露しました。本校からも中二生二六〇名余りが日ごろの研鑽の成果を披露しました。

㊧演武直前、みなぎる緊張感
㊦迫力のある二千人の演武

本校は空手が必修で、中一から普及型Ⅰ、Ⅱと修練し、中二から剛柔流、松林流、小林流、上地流を選択し、中学卒業までに空手一級、高校卒業までに初段を目指します。

【中二文化教養部　儀保　希乃】

二年四組　金城　大和

今回の国際通りの空手演武は、校内空手演武大会とは違い、一般の観客、なかには外国人の方も多くいました。緊張しましたが、演武終了後には大きな拍手をしていただき、改めて沖縄の伝統文化である空手はとても価値あるものだと思いました。

二年一組　田尻　七海

昨年十月、「空手の日」を記念した記念演武祭に私たち沖尚中二年生も参加させていただきました。子供から大人まで国内外から二千人あまりの空手家が国際通りを埋め尽くしました。沿道には大勢の観客がいて緊張しましたが、下地さんの力強い号令に合わせて技を披露することができました。沖縄で生まれた空手は今では一五〇カ国以上で普及しており、その人口は数千万人とも言われています。また、今年のオリンピックの追加種目にもなりました。沖縄空手に誇りを持ち、これからも一生懸命取り組んでいきたいと思います。

空手の基本型「普及型」

中３ＰＴＡ主催　進路学習会
将来を見据えて文理選択を

昨年十月八日、中三ＰＴＡ学年行事の進路学習会が開催され、多数の保護者が参加されました。本校では、高校進学の時点で文系・理系のクラス編成が行われます。高一段階で文理選択を行うことにより、大学受験に向けて早く取り組めるのが利点です。

しかし高二以降の文理変更で、高校卒業単位数の関係上、理系から文系の文転はできるものの、文系から理系の理転ができないことが注意点です。そのため早めの将来の夢を見つけ、夢について考え理系・文系選択について準備していきましょう。志望する（文系・理系）学部により、受験科目が変わってきます。

本学習会で配布された資料によりますと、高一のコース編成は、基本的に志望大学、中三時の成績（チェックテスト、事後テスト、模試）や英検、空手、ボランティア、異文化交流などの取得・活動状況を総合的にみて判断します。ここで重要な点は、成績のみで判断せず、目標を共有する集団をつくるために志望大学も判断基準になることです。

文理選択は基本的に（本人の）希望が反映されますが、コースについては希望コースの条件（志望大学、学力、英検など）を満たしていない場合は希望コース以外になる可能性があります。

英検取得に関しては、高校で英検準一級を取得することで大学受験の際には内申に加算されます。中学で英検準一級をすでに取得していても高校での内申には加算されませんので、再度準一級の試験を受ける必要がありますのでご注意ください。

【中三文化教養部　眞栄里・崎間】

卒業メッセージ　教師と生徒から

【三学年主任　沖吉献】

初めて皆さんと出会ってから、三年という月日が流れました。学年主任という立場の為、皆さんには厳しいことや口煩いことばかりを言い続けてきました。なので、皆さんにとって私は煙たがられる存在だったかもしれません。でも私にとっての皆さんは本当に大切な存在です。様々な問題を抱え、苦しみ、悩みながらも前を向き、そして、様々な行事通して、確実に成長を遂げてくれた皆さんの姿に、私は支えられ、励まされてここまで来ることができました。皆さんは私の誇れる生徒です。

そして、次年度から高校生です。人生の中で高校生活はたった三年間しかない貴重な時間です。だから、これからもかけがえのない一日一日を、大切に過ごして下さい。卒業おめでとう。皆さんの大切な「思い出」の一部に、私もほんの少し関われたことを心から幸福に思います。

【一組担任　仲田達司】

君たちと三年間かかわることができ、私自身とても感謝しています。一年生から各体育行事において君たちの成長を感じ、特に体育祭での集団行動、ソーラン節、ダンスは凄く良い思い出となっています。

一歩踏み出す勇気、挑戦し続ける忍耐力、常に前を向く向上心、それを君たちは備えています。そしてあなた達を応援しています。そして誰からも「応援される人」になって下さい。卒業おめでとう！

【一組副担任　神谷雪絵】

卒業生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。多くのことを学び、成長していく貴方達とともに歩んだ三年間は、私にとって大切な宝物です。

大切な貴方達に私自身が何度も勇気づけられ、励まされた言葉を贈ります。新しい事や困難な事に挑むとき「怖れず侮らず気負わず」と唱えると心が自然と落ち着いて、前に進むことができます。高校へ行っても周りの方々への感謝の心を忘れずに活躍されることを楽しみにしています。

【一組生徒　瑞慶山耕多】

僕は中学三年間を無事に沖尚で過ごすことができました。いろいろな行事やテストなどが多くてたいへんでしたが、両親や先生方の支えがあり、乗り越えることができました。

僕は沖尚に入学して様々な学校行事を体験し、人と話すことが少しずつできるようになりました。また異文化交流などで外国人と話す機会もあったので、貴重な三年間となりました。僕の中学生活をあたたかく見守ってくれた先生方、皆様方、ありがとうございました。

【二組担任　吉田安隆】

ご卒業おめでとうございます。皆さんの入学と同時に私も本校に着任しました。中学校生活は皆さんにとってどのような三年間でしたか。私にとっては、一生忘れることのできない濃密な三年間でした。人生初の中学校担任を持ち、担任として迎える人生初の卒業式です。担任および教科担任として未熟な私を、いろいろな場面で支え、成長させてくれた生徒たちに心から感謝申し上げます。高校での皆さんのご活躍を期待しています。

【二組副担任　宮城実子】

卒業おめでとうございます。いよいよ将来を自分自身の手で切り開いていく高校生活が始まります。将来はこの先に待っているのではありません。皆さんの将来は皆さんの内側にあります。皆さんの内側にある種をしっかり耕した畑に蒔き、質の良い肥料と水を与え自分の望む産物に育てていくことができますように！自分の選択した道に喜びを見つけて歩み続けてください。

「…苦難は忍耐を、忍耐は練達（れんたつ）を、練達は希望を生む…」（『新約聖書』ローマの信徒への手紙5章3―5節より）

【二組　川上堅】

入学してはや三年。今まで様々な行事がありました。体育祭やオープンキャンパス、空手演武大会と、三年経った今でも昨日のように思い出せます。中一のころ見た高校生はとても格好よく見えました。そして次は私たちがその高校生になります。気体や不安がこみあげてきて、複雑な気持ちになります。この気持ちを抱えながら、友人たちと共に一歩一歩、自立に向けて進んでいきたいと思います。

【三組担任　仲尾次愛未】

卒業おめでとうございます。中学校生活では、様々な行事のなかで体育科として多くかかわることができ、皆さんの成長していく過程が、とても嬉しく感じていました。なかでも、体育祭や空手演武大会では厳しく指導することもありましたが、生徒同士で支え合い、困難を乗り越えていく姿には、期待以上の感動を与えてくれました。

これから、辛いことがあっても胸を張り、美しい姿勢と笑顔で突き進んでください。皆さんと出会えたことに感謝します！

【三組副担任　兼島高雄】

卒業生の皆さんには、たくさんのチャンスが与えられています。夢、目標を持ち、いろいろなことに挑戦して下さい。そこで得る成功体験、あるいは失敗や挫折から学ぶこと。その全ての経験が蓄積されて、未来のあなた達の基礎になります。蓄積が多いほど安定感があり、少々の困難や挫折にグラつくことはありません。日々、挑戦し続け、素晴らしい自己実現を成し遂げて下さい。いつも応援しています。

【三組　前里太介】

私が三年間を通して成長できたと思うことは、自分を出せるようになったことです。もともとそれが苦手というわけではなかったのですが、様々な行事を通して、自分の発言に自信が持てるようになったので、友達とも積極的にかかわることができるようになりました。またこのような機会をたくさん与え、毎日支えてくれた父母にも感謝しています。これらの気持ちを忘れずに高校生活を楽しみたいです。

【四組担任　駒木根崇】

中学では情報基礎の授業で全7クラスを担当、一の五、二の五、三の四の担任、卓球部顧問をしました。初めて中一を担当し、感性の違いに戸惑い、接し方に疲れましたがパワーをもらいました。中二の体育祭を境に中学生らしく変身しました。中三の空手演武大会を終えると、高校生らしく成長したなと感心しています。精神面はまだ成熟が必要です。大学受験まで残り三年、約千日余り。皆さんの将来を決める大切な高校課程ですから、進路に悩んで、努力して下さい。合格通知を手にしたその日が、本当の卒業です。

【四組副担任　髙原久美】

Congratulations on your graduation!Graduate はラテン語の gradus「階段」に由来します。つまり、あなたたちは中学生という階段を上り終えたということです。さて、皆さんは、義務教育を終え、高校へ進学します。今後は単位修得が進級、卒業の条件となります。このことを念頭において、高校でも勉学に励んで欲しいと思います。ただ、長い人生においての階段では、足踏みや踏み外しすべてに意味があります。怖れないで、自分を信じて。応援しています。

【四組　仲宗根りら】

私が中学三年間で一番思い出に残っていることは部活動です。私はバドミントン部での練習を通して継続力を身に付けることが出来ました。なかなか上達を実感できず、何度か練習を投げ出しそうになったこともありましたが、それでも練習を続け、納得できる試合ができるようになりました。部活動で身に付けた継続力を活かし、高校でも頑張ります。

【五組担任　前川克志】

三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。初めて三年間持ち上がった学年でしたが、あなた達の成長の様子を見て私も成長でき、充実した三年間を過ごさせてもらいました。とても素直で優しく、温かい学年でした。高校生になってもその長所を大事にしてください。これからは高校、大学、そして社会と、世界はより大きくなっていきます。周りを見て他者を知り、見続けることで変化に気づき、己を見つめて己を知り、進むべき道を描いていってください。今後の飛躍を楽しみにしています。

【五組副担任　宮里聡子】

皆さんは、「可能性」という言葉がとても相応しい年齢に達しています。自分の未来を自らの手に抱いたときに、「可能性」をどのように導いていくのか、皆さん一人一人がしっかりと考えて歩んでほしいと思います。

「手考足思（しゅこうそくし）」（陶芸家河井寛次郎の言葉）…居ながらにして得る情報に満足するのではなく、体を存分に動かし、自らの手で道を切り開き、その瞬間「今」しかできないことをがむしゃらに探索していけるように、心より願っています。

【五組　宮城凜】

私の中学生活のなかで一番の思い出は中三最後の中体連です。試合には負けてしまいましたが、三年間苦楽を共にしてきた仲間と技術やそれ以外も教えてきた後輩たちと一丸となってプレーしたことはよい経験になりました。高校生になったら中学でお世話になった先輩方とまた部活ができるのを楽しみにしています。高校でも部活と勉強の両立ができるよう頑張ります。

ご卒業おめでとうございます。入学式ではあどけない様子だった皆さんが心も体も立派に成長してもう卒業式を迎えることを考えると、この三年間が本当にあっという間に過ぎたことを実感し、皆さんと充実した時間を過ごせたことを嬉しく思います。そして、皆さんのことを心から誇りに思います。この三年間を振り返り、できるようになったこと、頑張ったこと、得意になったことは何ですか。きっと沢山あると思います。高校での三年間もぜひ色々なことに挑戦してください。皆さんのこれからの成長、活躍を楽しみにしています。

【六組副担任　名城おりえ】

課題やチェックテストに追われた毎日。部活に専念した日々。努力が実り大きな達成感を感じたこと。努力が実らなくて落ち込んだこと。人間関係に悩んだこと。友人と過ごした何気ない毎日。皆さんが沖尚中で体験したすべてのことが、皆さんを成長させてくれたことをどうか忘れないで下さい。そしてそんな皆さんをいつも傍で応援し見守っている先生方や家族の方々がいることも。"Team Okisho"が、高校生になってもより強く大きく成長していくことを願って。卒業おめでとうございます。

【六組　赤嶺帆花】

中学生活を振り返ると、楽しかったこと、大変だったこと、様々な思い出が想起されます。数ある学校行事の中で、修学旅行が一番の思い出に残っています。私のクラスでは体調不良者が続出し、あいにくクラス全員揃っての旅行とはなりませんでしたが、沖縄ツーリスト、諸先生方にはたいへんお世話になりました。またかけがえのない友達のありがたさを実感しました。私はこれからの高校三年間も同じ仲間と一緒に過ごせることが嬉しいです。最後に、私たちを支えてくれた先生方、本当にありがとうございました。

【七組担任　山本千晶】

卒業にあたって、この三年間を振り返ると、君たちの成長の著しさに改めて驚かされます。生徒の成長の瞬間に立ち会えることは、教師にとってこの上ない喜びではありますが、君たちの背中を見送る立場ではありません。

高校の厳しいステージで、しっかりと次の舞台へ送り出せるよう君たちを支えていくことができればと思います。環境に甘えず、強い決意をもって先生方や保護者の支えを糧に、夢の実現のために主体的に取り組んでください。

【七組副担任　座覇嘉男】

生徒・保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。私自身、教員生活で初めて中学生を担当させていただき、慣れない教科指導、初めて経験する学校行事、初めて担当する部活などで多忙を極める時期もありました。しかし何事にも一生懸命に取り組む学年団の先生たちと、その期待に十二分に応え続けた君たちのおかげで、一日一日を本当に新鮮な気持ちで、楽しく過ごすことができました。高校生活も頑張ってくれることを願っています。

【七組　吉元幸音】

中学生活を振り返ると、授業の進度も速くなり、やるべきことも多くあって、大変でしたが、友達や先生たちと充実した楽しい日々を過ごすことができました。卒業を節目に中学（義務教育）課程を終えるので、これまでの反省をいかし、支えてくれたひとたちへの感謝の気持ちを忘れずに卒業していこうと思います。高校生としての自覚を意識しながら、少しずつ自立を目指して、高校生活も頑張ります。

名城政次郎さん名誉市民

台湾・嘉義市　教育、文化交流に貢献

沖縄台湾会会長の尚学学園理事長・名城政次郎さん(88)が22日、台湾の嘉義市から名誉市民として表彰された。

沖縄尚学高校で台湾の留学生を受け入れるなど、台湾―沖縄の文化、教育の交流に貢献したほか、1931年に甲子園で準優勝した嘉義農林学校（KANO）について広くアピールしたことなどが評価された。

嘉義市の黄敏恵市長（左）から名誉市民証書を受け取る名城政次郎さん＝22日午後、台湾・嘉義市役所

嘉義市の名誉市民は日本人としては池田大作氏以来2人目。県内からは名城さんが初めて。嘉義農林野球部OB会、台湾棒球名人堂協会、嘉義市工業会が推薦した。

嘉義市役所で行われた贈呈式で黄敏恵嘉義市長は「名誉市民は本当に市に貢献した人にしか贈らないので、受賞する人は少ない。嘉義市のために尽力していただき、感謝している。野球の交流もぜひお願いしたい」などとたたえた。名城さんは「15歳まで暮らした嘉義市は故郷も同然だ。きょうは皆さんに感謝するために来た。賞にふさわしい活動をしていきたい」と述べた。

名城さんは30年に日本統治下の嘉義市で生まれた。父政雄さん(那覇市泊出身)は嘉義市の市長秘書や教員、祖父の政成さんは公学校の校長を務めた。名城さんは終戦後、台南一中2年の時に、鹿児島に引き揚げ、母親の出身地愛知県の岡崎中（旧制）に編入した。

贈呈式には黄市長以下、市の幹部や平田久雄沖縄・台湾交流振興会会長、沖縄尚学学園の関係者、名城さんの家族らが出席した。

（『琉球新報』2019年10月23日「琉球新報社提供」）

沖尚吹奏学部、横浜遠征で本領発揮

全国高校吹奏楽大会、東京・ディズニーシーで演奏、好評博す

二〇一九年十一月十日、横浜のみなとみらいホールで第二十一回全日本高等学校吹奏楽大会が行われ、中学三十一名、高校二十六名、引率十一名の合計六十八名が参加した。

横浜大会では、「星条旗よ永遠なれ」、「不滅の光」、「五つの沖縄民謡による組曲」の三曲を演奏。とくに沖縄の空手や三線、エイサー、獅子舞いを取り入れた沖縄らしさあふれる「五つの沖縄民謡による組曲」は好評で、実行委員長賞を受賞した。

吹奏楽部の横浜遠征は十一月八日から十一日までの四日間。十日の横浜大会には、厳しい練習を積んで挑んだため、昨年より曲の表現などの平均点が向上したと評価された。翌十一日は三年ぶりに東京・ディズニーシーのディズニー・ドリーマーズ・オン・ステージ(※)に出演して「美女と野獣」を演奏した。

吹奏楽部顧問の屋比久哲先生は、「全国大会やディズニーでの演奏を通して生徒たちは日頃の練習の成果を出し切り、充実感を得、中高一丸となってチームワークを深めた」と語った。横浜大会での評価を受け、今月末には選抜吹奏楽部大会で浜松大会への出場も決まっている。今後も吹奏楽部の活躍に期待したい。

【文化教養部　國吉　茜】

(※)「東京ディズニー・ドリーマーズ・オン・ステージ」とは東京ディズニーリゾートホテル主催でアマチュアグループの為のプログラム。ディズニーの舞台で演奏する。参加は抽選制で、出演規定に合うアマチュアグループが対象。

日頃の練習成果を出し切る

屋比久　哲(吹奏楽部顧問)

一曲目の「星条旗よ永遠なれ」はアメリカの第二の国歌としても有名ですが、実際は一八六一年から一八六五年にあったアメリカでの南北戦争を元に作られ、アメリカ国民の心をひとつにするための曲でもあります。曲の最終部では国民が国旗を持ち行進し、対立した地域がひとつになったかのような描写があります。

二曲目の「不滅の光」は、第二次世界大戦中、アメリカからヨーロッパに向かった輸送船がドイツの潜水艦の攻撃を受け沈没し、そこに乗船していた四人の従軍牧師らが自らの救命胴衣を渡し、「我らが父なる神」を歌いながら船と共に沈んでいくという実話に基づいた壮大な物語を描いた曲です。このような賛美歌がテーマとなっている曲を演奏し、その結果、昨年より曲の表現などの点数が上がり、平均点が向上しました。

三曲目の「五つの沖縄民謡による組曲」は、横浜でも毎年とても好評で、沖縄の文化を発信するとても良い機会になっていると自負しています。

大会翌日はディズニーシーで行われた、ディズニー・ドリーマーズ・オン・ステージで演奏し、朝早くからの本番でしたが、夢の国での演奏とあって、ステージ上での表情等にも気を配りながら、力を十分に発揮できたと思います。全国大会やディズニーでの演奏を通して生徒達は日頃の練習の成果を出し切り、充実感を得、中高一丸となってさらにチームワークを深めたのではないかと思います。

最後に、遠征に関しまして、PTAの方々、学校関係者の方々、吹奏楽部父母会には、いろいろご協力いただき、本当にありがとうございました。

沖縄らしい演奏で実行委員長賞

高一　長谷川ひのり

私たちは十一月に行われた全日本高等学校吹奏楽大会in横浜で、沖縄の空手や三線、エイサー、獅子舞を取り入れた沖縄らしさあふれる演奏をし、実行委員長賞を頂きました。

さらに、三年ぶりの参加となるディズニーシーでのディズニー・ドリーマーズ・オン・ステージでは、「美女と野獣」を演奏し、ゲストの方に笑顔と感動を届ける貴重な体験をさせて頂きました。今回の遠征を通して、このような経験をさせて頂き感謝の気持ちでいっぱいになりました。今後もこの気持ちを忘れず仲間と切磋琢磨し、より質の高い演奏を志し練習に励んでいきたいです。

また、このような素晴らしい経験をさせて頂いた理事長先生、副理事長先生をはじめとする学校関係者の方々、たくさんの協力や応援していただいた保護者各位に心よりお礼申し上げます。

演奏レベルも向上、成長を確信

中二　座間味　京香

私たち吹奏楽部は十一月八日から十一日にかけて横浜遠征を行いました。私たち中二にとっては先輩として初めての遠征でした。胸に不安を抱きながらも、十日の本番へと挑み、そこでありがたくも実行委員長賞を頂くことが出来ました。また、三年ぶりにディズニーで演奏することができ、去年よりもレベルが上がった演奏ができ成長できた遠征だったと思います。学んだことを活かしながら練習に励み、次の大会に備えて頑張っていきたいです。

表彰者の顔ぶれ

（紙面の都合上、一部掲載となります。ご了承ください。）

空手部

陸上部

合唱部

NHK全国学校音楽コンクール
沖縄県コンクール銅賞

空手部

卓球部

女子柔道部

珠算部

JA共済全国小・中学生書道
沖縄県コンクール受賞者

那覇地区中学校科学作品展　受賞者

珠算部

田崎清忠杯
私立中学校英語
レシテーション大会
受賞者

沖縄県児童生徒科学賞
受賞者

「心の輪を広げる
体験作文」受賞者

児童・生徒平和のメッセージ
作文部門　受賞者

全琉小・中・高校図画作文書道コンクール受賞者

「おきなわの観光」意見発表コンクール　受賞者

スポーツ活動表彰者一覧（平成31・令和元年度）

○第42回全国JOC夏季沖縄県予選大会（令和元年6月16日）
・13～14歳 男子 100m平泳ぎ
第1位（1分06秒49） 吉岡円舵(3-7)
・13～14歳 男子 200m平泳ぎ
第1位（2分27秒12） 吉岡円舵(3-7)

○令和元年度那覇地区中学校テニス競技1・2年生強化大会
（令和元年8月5日）
・女子シングルス　準優勝　榮門星夏(2-3)

○第30回九州中学校柔道大会（令和元年8月7日）
・女子57kg級　第3位　泰川寛野(3-4)

○第15回那覇地区中学校ダブルスバドミントン強化大会
（令和元年9月8日）
・女子ダブルス　3位　和田七星(1-1)、山田叶乃(2-7)

○第61回那覇地区中学校陸上競技大会（令和元年9月20日）
・男女総合の部　優勝（123点）沖縄尚学高等学校附属中学校
・男子総合の部　優勝（61点）　沖縄尚学高等学校附属中学校
・女子総合の部　2位（62点）　沖縄尚学高等学校附属中学校
・躍進賞 沖縄尚学高等学校附属中学校
・女共通 400mR　1位（53秒4）
星田眞奈(3-6)、照屋希歩(3-1)、照屋李依(3-5)、桃原伶歌(3-4)
・共通女子 100mH 1位（16秒0） 照屋李依(3-5)
・共通女子 走幅跳　1位（4m91） 牧﨑百花(2-5)
・共通女子 100m　2位（13秒3） 桃原伶歌(3-4)
・共通女子 200m　3位（28秒9） 桃原伶歌(3-4)
・共通男子 110mH 2位（12秒6） 山城友亜(2-7)
・共通男子 走幅跳　3位（5m86） 玉城智椰(2-6)
・共通男子 100m　3位（11秒6） 西原尽之助(3-2)
・2年女子 100m　1位（13秒5） 牧﨑百花(2-5)
・2年男子 100m　1位（11秒8） 山城友亜(2-7)
・2年男子 1500m　1位（4分39秒2） 濱田光(2-5)
・2年男子 400mR　1位（46秒5）
細田琉夏(2-2)、山城友亜(2-7)、玉城智椰(2-6)、安里義信(2-3)
・1年女子 400mR　1位（55秒8）
又吉伶南(1-7)、上里真麻(1-3)、松川葵海(1-2)、大嶺里緒(1-3)
・1年男子 400mR　2位（49秒8）
儀間航大(1-2)、伊藝修一(1-2)、新垣雅人(1-3)、丸山駿(1-6)
・1年男子 100m　3位（12秒6） 伊藝修一(1-2)

○第61回沖縄県中学校陸上競技大会（令和元年10月19日）
・男2年 4×100mR　3位（46秒63）
細田琉夏(2-2)、山城友亜(2-7)、玉城智椰(2-6)、安里義信(2-3)

○第42回沖縄県中学校柔道大会（令和元年10月5日）
・女子団体　優勝　沖縄尚学高等学校附属中学校
・女子63kg級　1位　島袋芽子(2-4)
・女子70kg級　1位　玉城美桜(2-4)
・女子70kg超級　1位　宮里心寧(1-1)

○第51回秋季選手権水泳大会（令和元年10月20日）
・男子 50m平泳ぎ　第1位（31秒93）　吉岡円舵(3-7)
・男子 100m平泳ぎ 第1位（1分09秒94）吉岡円舵(3-7)

○沖縄県中学校体育連盟からの表彰状（令和元年11月15日）
・柔道競技　優秀競技者賞　泰川寛野(3-4)
・空手道競技　優秀競技者賞　島袋生成(3-1)
・水泳競技　優秀競技者賞　加屋本悠(3-7)
・優秀学校賞　沖縄尚学高等学校附属中学校

○第22回沖縄県中学生新人空手大会（令和元年11月16日）
・1年女子個人組手　準優勝　木場那菜(1-5)
・1年男子個人組手　第3位　平良嘉紀(1-7)
・女子団体組手　第3位　沖縄尚学高等学校附属中学校
嘉陽 聖(2-7)、石川花音(1-3)、上江洲百花(1-3)、木場那菜(1-5)

○第71回沖縄県民体育大会（令和元年12月1日）
・新体操競技 中学校女子 個人総合　第1位 野原すみれ(2-5)
・新体操競技 中学校女子 種目別ボール 第1位 野原すみれ(2-5)
・新体操競技 中学校女子 種目別クラブ 第1位 野原すみれ(2-5)
・新体操競技 中学校女子 個人総合　第2位 堀切 華(3-6)

○第13回うるま若獅子杯空手道交流大会（令和元年12月21日）
・中学男子団体組手　準優勝　沖縄尚学A
島袋生成(3-1)、金城利輝(3-6)、松島史門(3-1)、山下雅輝(1-3)
・中学女子団体組手　3位　沖縄尚学A
佐藤永理(3-7)、嘉陽 聖(2-7)、木場那菜(1-5)

○令和元年度那覇地区中学校テニス競技一・二年生強化大会
（令和元年8月3日）
・男子シングルス　3位　瀧口悠(1-6)

○令和元年度夏季ジュニアテニス大会（令和元年8月18日）
・14歳以下男子シングルス 3位 瀧口悠(1-6)

○沖縄県テニス選手権大会（ジュニアの部）（令和元年11月16日）
・14歳以下男子シングルス 準優勝 瀧口悠(1-6)

○第17回沖縄県ジュニア新体操クラブ連盟ハイビスカスカップ
（令和元年12月27日）
・中学生ボール　第2位　野原すみれ(2-5)
・中学生クラブ　第3位　野原すみれ(2-5)

○令和元年度沖縄県テニス選手権大会（ジュニアの部）（令和元年11月2日）
・14歳以下女子シングルス 3位　榮門星夏(2-3)

○第20回那覇地区中学校新人水泳競技大会（令和2年1月11日）
・女子50m背泳ぎ　1位（31秒01）　當間千夏(1-1)
・女子100m背泳ぎ　1位（1分08秒45）當間千夏(1-1)
・女子200m個人メドレー　1位（2分30秒72）當間千夏(1-1)

○令和元年度沖縄県テニス選手権大会（ジュニアの部）
（令和元年11月2日）
・16歳以下女子シングルス 3位　榮門星夏(2-3)

○第17回沖縄県ジュニア新体操クラブ連盟ハイビスカスカップ
（令和元年12月27日）
・中学生ボール 2位 野原すみれ(2-5)
・中学生クラブ 3位 野原すみれ(2-5)

○第22回「もとぶ元気村」水泳大会／
第40回九州カップ水泳競技大会沖縄県予選会
（令和元年12月8日）
・13～14歳 男子50m平泳ぎ 第1位（31秒52）　吉岡円舵(3-7)
・13～14歳 男子100m平泳ぎ 第1位（1分07秒55）吉岡円舵(3-7)
・13～14歳 男子200m平泳ぎ 第1位（2分28秒66）吉岡円舵(3-7)

○第20回那覇地区中学校新人水泳競技大会（令和2年1月11日）
・女子50m背泳ぎ　第1位（31秒01）　當間千夏(1-1)
・女子100m背泳ぎ　第1位（1分08秒45）當間千夏(1-1)
・女子200m個人メドレー　第1位（2分30秒72）當間千夏(1-1)

○令和元年度那覇地区中学校新人柔道競技大会（令和2年1月11日）
・女子団体　優勝　沖縄尚学高等学校附属中学校
・女子63kg以下級　優勝　島袋芽子(2-4)
・女子70kg以下級　優勝　玉城美桜(2-4)
・女子70kg超級　優勝　宮里心寧(1-1)

○第29回OTVカップ争奪総合体操競技大会（令和2年1月19日）
・新体操 中学校上 個人総合　1位 野原すみれ(2-5)
・新体操 中学校上 種目別ボール 1位 野原すみれ(2-5)

○那覇地区中学校体育連盟からの表彰状（令和2年2月15日）
・水泳競技　優秀競技者賞　吉岡円舵(3-7)
・空手道競技　優秀競技者賞　島袋生成(3-1)
・柔道競技　優秀競技者賞　島袋芽子(2-4)

○第40回九州カップ水泳競技大会（令和2年2月1・2日）
・男子13・14歳 50m平泳ぎ　第2位（30秒56）吉岡円舵(3-7)
・男子13・14歳 100m平泳ぎ　第3位（1分06秒08）吉岡円舵(3-7)

○第26回春季室内選手権水泳競技大会（令和2年1月26日）
・15～16歳 男子50m平泳ぎ　第1位（31秒86）　吉岡円舵(3-7)
・15～16歳 男子100m平泳ぎ　第1位（1分07秒89）吉岡円舵(3-7)
・15～16歳 男子200m平泳ぎ　第2位（2分29秒87）吉岡円舵(3-7)
・13～14歳 女子200m個人メドレー　第1位（2分31秒57）當間千夏(1-1)
・13～14歳 女子50m背泳ぎ　第2位（31秒12）　當間千夏(1-1)
・13～14歳 女子100m背泳ぎ　第2位（1分09秒51）當間千夏(1-1)

文化活動表彰者一覧（平成31・令和元年度）

○第86回NHK全国学校音楽コンクール沖縄県コンクール（令和元年8月6日）
・銅賞 沖縄尚学高等学校附属中学校

○第29回「児童・生徒の平和メッセージ」（令和元年8月19日）
・作文部門 優良賞 盛田葵生(2-7)
・作文部門 優良賞 津嘉山理子(2-5)
・作文部門 佳作 比嘉岳洋(2-6)
・作文部門 佳作 山本修二(2-5)
・作文部門 佳作 山崎洸(2-1)

○令和元年度JA共済全国小・中学生書道地区コンクール（令和元年9月12日）
・半紙の部 優秀賞 金良健之介(2-6)
・条幅の部 優秀賞 金良健之介(2-6)、齊籐 聖(3-6)

○第55回那覇地区中学校科学作品展（令和元年9月15日）
・金賞　神里奏良(1-6)　テーマ「豚の骨の全身骨格標本」
・銀賞　山口瑠菜(1-5)　テーマ「凝固についての研究記録」
玉城美柚(1-1)　テーマ「集中力UP方法研究」
與那嶺和(1-1)　テーマ「牛乳を固めるものはナニ?」
村山 颯(1-4)　テーマ「水蒸気船の研究」
屋良祐吾(1-4)　テーマ「シダの研究」
城間健寿(1-7)　テーマ「エネルギー変換装置」
荻堂義久(1-7)　テーマ「なぜ?酢と油は混ざらない?」
砂川直花(1-7)　テーマ「ペットボトルの水を冷たく保つ方法」
恩納優里奈(2-3) テーマ「ガウス加速器の原理」

○第95回沖縄県児童生徒科学賞作品展（令和元年10月20日）
・佳作 神里奏良(1-6)　テーマ「豚の骨の全身骨格標本」

○令和元年度全日本通信珠算競技大会（令和元年10月20日）
・中学生の部 団体総合競技 優勝 沖縄尚学高等学校附属中学校
嘉陽宗麿(1-1)、森蒼依(1-7)、宮城穂(3-2)
・中学生の部 個人総合競技　第2位　嘉陽宗麿(1-1)
・中学生の部 読上算競技　第2位　嘉陽宗麿(1-1)
・中学生の部 読上暗算競技　第2位　嘉陽宗麿(1-1)
・中学生の部 個人総合競技　第2位　森蒼依(1-7)
・中学生の部 読上暗算競技　第2位　森蒼依(1-7)
・中学生の部 読上算競技　第2位　森蒼依(1-7)
・中学生の部 フラッシュ暗算競技　第2位　森蒼依(1-7)
・中学生の部 個人総合競技　第3位　宮城穂(3-2)
・中学生の部 読上暗算競技　第2位　宮城穂(3-2)
・中学生の部 フラッシュ暗算競技　第2位　宮城穂(3-2)
・中学生の部 個人総合競技　第64位　宮城穂(3-2)
・中学生の部 フラッシュ暗算競技　第2位　宮内快(3-7)

○第67回全琉小・中・高校図画作文書道コンクール（令和元年10月30日）
・書道部門
最優秀賞　金良健之介(2-6)
優秀賞　高良花蓮(1-1)　宮國凜(2-2)　備瀬莉杏(2-2)
優良賞　柳沢果歩(1-1)　喜友名星乃光(1-5)　仲村月花(2-7)
牧志優月(2-4)　比嘉笑花(3-2)　四宮郁萌(3-5)
上原万侑(3-5)　佐藤遙香(3-6)　仲座萌香(3-6)
齊籐聖(3-6)　比屋定花菜(3-7)　宮良歩佳(3-7)
佳　作　久手堅丹南(1-1)　神谷瑠香(1-1)　田代桜(1-1)
野國夏音(1-1)　長嶺幸来(2-1)　新垣心奈(2-7)
仲地香乃(2-7)　齊野平凜(3-1)　伊佐美羽(3-3)
伊敷侑真(3-5)　村上蒼空(3-5)　辻美咲(3-5)
安里晃生(3-7)
・絵画部門
最優秀賞　山本琳乃(1-5)　平良采子(1-1)
優秀賞　喜友名星乃光(1-5)　宮城孝和(1-7)　中田舞琉(1-3)
仲里優杏(1-6)　木場那菜(1-5)　當銘舞姫(1-5)
與儀唯葉(1-1)　浦崎乃亜(2-3)
優良賞　當間千夏(1-1)　當銘彩姫(1-2)　大城果穂(1-2)
玉代勢りこ(1-2)　金城光瑠(1-4)　比嘉花菜子(1-5)
山口瑠菜(1-5)　瀧口悠(1-6)　照屋稟花(1-6)
新垣茉央(1-7)　又吉風羽花(2-3)　濱川心愛(2-4)
大仲晴(3-1)　齊野平凜(3-1)　比嘉笑花(3-2)
比嘉優衣(3-3)　中村玲苑(3-4)　仲地実珠々(3-4)
平良咲(3-5)　辻美咲(3-5)　井上瞳奈(3-5)
嘉数未希(3-5)　宮城佑梨(3-5)　四宮郁萌(3-5)
浅野琢磨(3-5)　大神いのり(3-5)　熱田花楓(3-6)
伊波泉紀(3-7)　仲若三希(3-7)　米須莉々七(3-7)
佳　作　折田悠世(1-1)　津嘉山理人(1-1)　比嘉皇盛(1-1)
末吉功典(1-1)　野國夏音(1-1)　和田七星(1-1)
久手堅丹南(1-1)　新崎桂也(1-2)　古謝杜央子(1-2)
城間心敬(1-2)　植村あまね(1-2)　山城瑠琉(1-3)
上里真麻(1-3)　比嘉真愛(1-3)　新垣瑠音(1-4)
具志美鈴(1-4)　屋良祐吾(1-4)　森理緒奈(1-5)
本村玲(1-5)　末吉花菜子(1-6)　下地みやび(1-6)
香坂瑞喜(1-6)　長門大誠(1-6)　荻堂義久(1-7)
須永千愛(1-7)　星野蘭(1-7)　平良嘉紀(1-7)
平良和奏(1-7)　稲嶺華(2-1)　大城綾夏(2-1)
新里明海(2-1)　宮城俐子(2-1)　新田しき(2-2)
島谷春佳(2-2)　仲里悠那(2-2)　上江洲ひなた(2-3)
赤木佑宇(2-3)　恩納優里奈(2-3)　島袋りの(2-3)
宮城吉智(2-5)　高吉夏音(2-5)　崎濱仁伊奈(2-5)
真栄田あゆみ(2-5)　仲地健太郎(2-5)　津嘉山理子(2-5)
新垣心奈(2-7)　越智映來(2-7)　盛田葵生(2-7)
砂川幸里(3-3)　神里春七(3-3)　村上ナタリ(3-3)
西端清之介(3-5)　山口璃紗(3-5)　宮城叙衣(3-6)
宮良歩佳(3-7)

○第38回全九州珠算選手権大会（令和元年11月10日）
・中学生の部 団体総合競技 優勝　沖縄尚学高等学校附属中学校
嘉陽宗麿(1-1)、森蒼依(1-7)、蒲原綾音(1-4)
・中学生の部 個人総合競技　第2位　森蒼依(1-7)
・中学生の部 読上暗算競技　第2位　森蒼依(1-7)
・中学生の部 読上算競技　第2位　森蒼依(1-7)
・中学生の部 フラッシュ暗算競技　第2位　森蒼依(1-7)
・中学生の部 個人総合競技　第2位　嘉陽宗麿(1-1)
・中学生の部 読上算暗競技　第2位　嘉陽宗麿(1-1)

○第19回田崎清忠杯私立中学校英語レシテーション大会
（令和元年11月17日）
・2年生の部 第5位 津波古ひなの(2-6)

○第11回学校対抗英語スペリングコンテスト（令和元年11月23日）
・1位 沖尚中学校「ゆめピリカ」チーム
神里奏良(1-6)、親泊優希(2-6)、宮城叙衣(3-6)
・2位 沖尚中学校「ひとめぼれ」チーム
仲里優杏(1-6)、仲宗根はづき(2-5)、仲本明日香(3-6)

○2019年度「心の輪を広げる体験作文」（令和元年12月6日）
・優秀賞 下地冴弥(2-3)

○第49回中部地区小中学生珠算競技大会（令和元年12月14日）
・中学生の部 個人競技 優勝　嘉陽宗麿(1-1)
・中学生の部 個人競技 第2位 宮内 快(3-7)

○第12回沖縄県中学校総合文化祭（令和元年12月7日）
・展示の部 国語作品（書道） 金良健之介(2-6)

○令和元年度JA共済全国小・中学生書道沖縄県コンクール
（令和2年1月18日）
・条幅の部 JA共済特別奨励賞 齊藤 聖(3-6)

○第41回読売学生書展（令和元年12月7日）
・半紙の部　特選　比屋定花菜(3-7)
・条幅の部　特選　比屋定花菜(3-7)
・条幅四分の一の部　銀賞　比屋定花菜(3-7)